



令和6年3月19日

(2024年)

179号

(開放日) 月・水・木

(時間) 13:00~16:00

開放図書館です。

地域の方どなたでもご利用できます。

屯田小学校図書館開放事業運営委員会

日ごとに春めいてきましたね。今年度は開放図書館40周年にたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。初めてご利用いただく方も多くとても嬉しい一年でした。地域の皆様、これからも笑顔溢れる図書館をどうぞよろしくお願いいたします。

そして、6年生の皆さんへご卒業おめでとうございます。皆さんのさらなる飛躍をお祈りしています。

1年生から5年生の皆さん、今年も図書館では楽しい企画をたくさん考えています。図書館に来てくださいね。

さて、40周年の締めくりに酒巻教頭先生、5・6年図書委員担当の佐々木真結子先生より素敵な原稿を頂きました。

学校と家庭、双方からの「読書」へのいざないを

教頭 酒巻 智

札幌市では「札幌らしい特色ある学校教育」の中核となるテーマの一つとして「学びの基礎となる【読書】」を掲げています。本校でも「朝読」（登校後、10分間の読書活動）をはじめ、各学年で定期的・継続的な図書館利用の機会をもつようにしています。特に「朝読」は脳の活性化やストレス軽減、創造性・言葉や表現力・想像力の向上など、様々な効果（データや科学的にも証明されているそうです）が期待できますが、本校では取り分け、「落ち着いた心情で1日をスタートするためのスイッチ的な活動」として位置付けています。登校時間（学校に到着する時間）によっては、教室に来てからの諸準備で余裕がなく、十分に「朝読」を行うことができない子もいることから、来年度からは登校時間を8時25分までとし、8時30分からは子どもたちが一斉に活動に取り組めるようにしていきます。

今年度の学校評価（児童・保護者アンケート）で「進んで本を読んでいるか」を問う設問での肯定的な回答の割合は、児童が約69%、保護者は約57%でした。直近3年間は、ほぼ横ばいの数値で、札幌市の平均（小6）と比べると10%ほど低く、取組とは裏腹に読書への興味が高まっているとは言えない状況です。特に保護者の皆さんから見ると「うちの子はそんなに読書が好きではないみたい。」と感じている様子が伺えます。生活の中でデジタルデータが増え、大人も子どもも「情報を得るため・娯楽として楽しむため」の手段としては「まとめサイト」の検索や動画視聴など「本よりもスマホ」が主流となり、本を読む欲求や必要感よりも「手軽さ・簡単さ」「時間対効果（タイパ）」などが重視されてきたことが大きな要因なのでしょう。しかしながら、2023年の学校読書調査（全国学校図書館協議会 全国の小学生約3500人の抽出調査）では、「1か月間に読んだ本の冊数（5月 小学生）」は平均12.6冊、「1か月間に1冊も本を読まなかった児童（5月 小学生）」は全体の7%と、一概に社会全体として「読書離れが進んでいる」とは言えないようです。

「面白い本がない」「字を読むのがめんどくさい、苦手」「文字だけだとよく分からない」など、子どもが本に興味をもてない理由は様々でしょう。「本を読みなさい」という指示により「読まされている」だけでは、本の世界に浸り、面白さを感じさせるのは難しいことです。学校での「朝読」では、担任も一緒に読書をしている学級は、とても穏やかに、自然に読書をしている印象があります。ご家庭でも、低学年ならば絵本などを読み聞かせてあげたり、保護者の方自身が読書をする姿を見せたり、一緒に書店や図書館に出かけたりするなど、「自分もちょっと読んでみようかな」「この本、どんな内容だろう」という気持ちになる「きっかけ」づくりにご協力いただければ幸いです。

読書の時間を大切にせよ

1冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあるのだから

—ジョセフ・マーフィー（宗教者）

「屯田小学校の図書館は、温かくて、笑顔と元気が生まれる場所」

佐々木 真結子教諭

今年度の図書委員会の活動も、子どもたちのアイディアが輝いたものとなりました。

委員会で企画した「クイズラリー」。図書館に関わるクイズを考えて、全校の子どもたちに楽しみながら参加してもらうことができました。また、2月に行った「ブックジ」は企画名も子どもたちが考えました。委員の子どもたちが低・中・高学年向けに選んだ本を紙で覆い、どの本が当たるかわからない方法で選んでもらいました。選ぶ子どもはドキドキ。紙を外すと、委員の子どもたちが「いい本が当たったね!」「その本、とっても面白いよ。おすすめだよ。」と拍手!胸に本を抱えて「これ読んだことないから、楽しみ。」と参加した子どもたちからたくさんの笑顔が生まれていました。3日間でおよそ160冊もの本を借りてもらうことができました。自分では選ぶことがなかった本にたくさん出合っほしい、という委員会の子どもの思いが伝わっているように感じました。

屯田小学校で勤務して、図書の担当となることが多く、開放図書館の方々とお話する機会をいただくことができました。いつも子どもたちや地域の方々のことを考えて、活動して下さっていました。図書館に足を踏み入れるといつも温かく接して下さり、元気をもらうことができました。

屯田小学校の図書館は、子どもにとっても、地域にとっても、宝物のような場所です。これからもこの図書館をたくさん利用して、読書を楽しんでほしいと願っています。

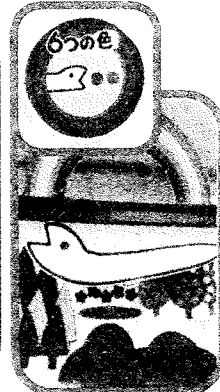
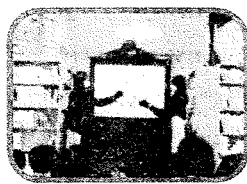
40周年の記念活動報告

☆5月～ 記念マスコットキャラクターを募集

- ・120名の応募から、最優秀賞1名
優秀賞7名 計8名の作品を決定。

☆5月29日 一年生を迎える会

- ・図書館利用説明と《はらぺこあおむし》のパネルシアターを入学のお祝いにプレゼントしました。



☆9月 開放図書館40周年記念誌配布

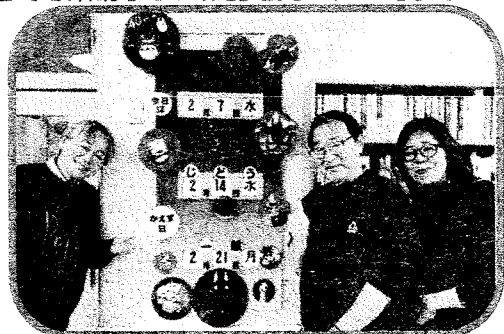
☆10月 先生のおすすめ本紹介・40周年記念 図書館まつり

☆12月 クリスマス会

- ・40周年記念で制作したパネルシアター《6つの色》と窓から贈り物、大きなかぶを一年生と青空学級に披露。全学年にテレビ放送で披露。

☆1月 貸出し・返却日の掲示板

- ・熊谷先生、藤川先生、加藤先生より、お祝いに《貸出し・返却日の掲示板》を制作していただきました。とても素晴らしい作品を見て、来館する子が喜んでいました。



お知らせとお願い

今年度も無事に終えました事、日頃よりお手伝いいただいているボランティアのみなさまに心より感謝いたします。

- ・新年度は4月10日(水)から開館です。
- ・本の貸し出しなどのお手伝いをしてくださる方を募集しています。ボランティアに参加してみませんか?

連絡先・屯田小学校
771-3151

本の寄贈がありました。
地域の 〇〇 さんどうもありがとうございました。

